

# 災害・危機管理 ICTシンポジウム 2017



—災害時の情報収集・伝達—



入場無料

日時 2017年2月2日 木  
10:30 - 16:00

会場 パシフィコ横浜 アネックスホール F205

横浜市西区みなとみらい 1-1-1

みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩3分  
JR線・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩12分

## 講演内容

「『伝える』を支える」

白岩 雅輝 (情報通信研究機構 ソーシャルイノベーションユニット耐災害 ICT 研究センター 基盤領域研究室 主任研究員)

「多様な通信放送メディアを用いた重層的な災害情報配信の在り方について」

櫻内 寛 (株式会社 NTT データ 第二公共事業本部 防災ソリューション担当部長)

「災害時の活用を想定した無人航空機システムにおける電波利用の課題と取り組み」

三浦 龍 (情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 上席研究員)

「多様なデータ融合による災害時のモビリティ支援」

桑原 雅夫 (東北大学大学院 情報科学研究科 教授)

「外国人傷病者からの情報収集・伝達 ～救急隊用多言語音声翻訳アプリの紹介～」

久保田 勝明 (消防庁 消防研究センター 地震等災害研究室長)

「航空機 SAR による熊本地震の被害状況把握」

浦塚 清峰 (情報通信研究機構 電磁波研究所 統括)

詳しくはホームページをご覧ください <http://ictfss.nict.go.jp/yokohama2017/>

主催：国立研究開発法人情報通信研究機構、次世代安心・安全 ICT フォーラム

共催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

後援：内閣府、総務省、文部科学省、防衛省

# 災害・危機管理 ICT シンポジウム 2017

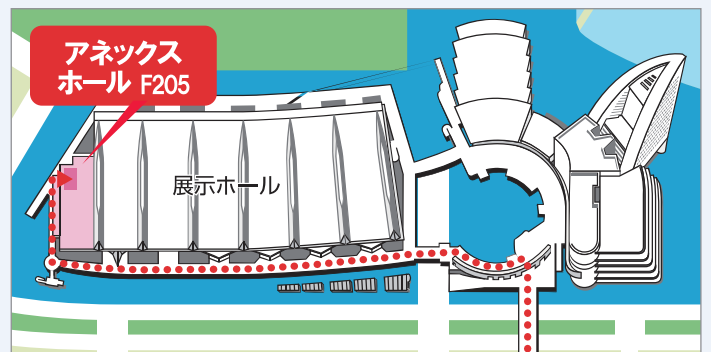
## －災害時の情報収集・伝達－

入場無料

### プログラム

10:30～10:35	開会挨拶	福地 一	次世代安心・安全 ICT フォーラム 会長
10:35～10:40	来賓挨拶	越後 和徳	総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課 研究推進室 室長
10:40～11:20	「『伝える』を支える」	白岩 雅輝	情報通信研究機構 ソーシャルイノベーションユニット耐災害ICT研究センター 基盤領域研究室 主任研究員
11:20～12:00	「多様な通信放送メディアを用いた重層的な災害情報配信の在り方について」	櫻内 寛	株式会社 NTT データ 第二公共事業本部 防災ソリューション担当部長
12:00～13:00	昼食		
13:00～13:40	「災害時の活用を想定した無人航空機システムにおける電波利用の課題と取り組み」	三浦 龍	情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター 上席研究員
13:40～14:20	「多様なデータ融合による災害時のモビリティ支援」	桑原 雅夫	東北大学大学院 情報科学研究科 教授
14:20～15:00	「外国人傷病者からの情報収集・伝達 ～救急隊用多言語音声翻訳アプリの紹介～」	久保田 勝明	消防庁 消防研究センター 地震等災害研究室長
15:00～15:15	休憩		
15:15～15:55	「航空機 SAR による熊本地震の被害状況把握」	浦塚 清峰	情報通信研究機構 電磁波研究所 統括
15:55～16:00	閉会挨拶	細川 瑞彦	情報通信研究機構 理事

### 会場のご案内



#### ■ 最寄り駅から

【みなとみらい線】 「みなとみらい駅」より徒歩3分  
【JR線・市営地下鉄】 「桜木町駅」より徒歩12分、バスで7分、タクシーで5分  
「横浜駅」よりタクシー7分、シーバス（船）で10分

#### ■ 電車でお越しのお客様

東京駅より約30分、渋谷より約30分、新宿より約32分：みなとみらい駅へ  
東京駅より JR 東海道線を利用、横浜下車し、みなとみらい線に乗り換え  
渋谷駅より 東急東横線（特急）利用（みなとみらい線へ直通運転）  
新宿駅より JR 湘南新宿ラインを利用、横浜下車、みなとみらい線に乗り換え  
\* JR 京浜東北線、横浜市営地下鉄の場合は、桜木町駅をご利用ください。

お問い合わせ・お申し込み

次世代安心・安全 ICT フォーラム事務局

Tel : 042-327-6696

e-mail : ictfss-2017@ml.nict.go.jp

http://ictfss.nict.go.jp/yokohama2017/

